

活動レポート

日本技術士会北海道本部 地方委員会 道南技術士委員会

文責：道南技術士委員会 幹事 清水 亮輔

「第 44 回 技術者交流フォーラム事業 in 函館」開催報告

1. はじめに

道南技術士委員会では、令和 6 年 7 月 30 日(火)に国土交通省北海道開発局函館開発建設部、国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所と共同で、「インフラと観光～函館港の事例～インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツの造成」と題して第 44 回技術者交流フォーラム事業 in 函館を開催しました。

本フォーラムは、クルーズ船の寄港数増加によりインバウンドの誘客や消費拡大が期待される函館港クルーズ船岸壁整備にかかる技術的工夫などについて、産学官がその技術開発に関する情報交換を行い、交流を図ることを目的としたもので、技術者交流の場として展示パネルも設置され、会場となった函館市民会館には多くの参加者が訪れました。

2. フォーラム実施概要

開催日時：2024 年(令和 6 年)7 月 30 日(火)

13:30～17:00

開催場所：函館市民会館 小ホール



図-1 開会挨拶をする岡下部長

「第 44 回技術者交流フォーラム in 函館」次第

I. 開会挨拶(函館開発建設部長 岡下 淳)

II. 来賓挨拶(函館市長 大泉 潤)

III. 基調講演「交流型地域におけるまちづくりとは」

北海商科大学 教授 池ノ上 真一

IV. 技術者の交流(展示・休憩)

V. 一般講演

1. 「函館港の整備と地域振興に向けて」

函館港湾事務所 所長 三岡 照之

2. 「埋もれた地域資源を発掘し価値創造する取り組み事例」

道南技術士委員会 代表 布村 重樹

3. 「魅力ある海辺の空間整備に向けたみなとまちづくり」

寒地土木研究所 研究員 榎本 碧

VI. 閉会挨拶(寒地土木研究所長 井上 勝伸)

3. 基調講演

最初に「交流型地域におけるまちづくりとは～観光インフラの持続可能な関係のために～」と題して北海商科大学商学部観光産業学科教授の池ノ上真一氏による基調講演が行われました。同氏が以前、北海道教育大学函館校に勤務されていた頃には、「函館湾岸価値創造プロジェクト」(GRHABIP<グラビップ>)の事務局長も務められ、当地にとって大変ゆかりのある方です。

講演では、世界におけるまちと観光の関係や歴史について、観光の生かし方として地域のダイナミズムを捉えること、急激な環境変化に対して地域が抱える課題などを丁寧に解説していただきました。そして合理性や効率性を重視した方法が限界を迎える

中、持続可能な地域を目指す仕組みとして、ハードとソフト両面で人を幸せにするために観光まちづくりを進めていく必要があるという内容で、良好な観光インフラを抱えながら急速な人口減少が進む函館にとって大変貴重な講演でありました。



図-2 池ノ上氏による基調講演

4. 技術者の交流(展示パネル・動画)

基調講演の後には、小ホール横の会議室にて展示パネルや動画が公開され、技術者同士の交流の場として多くの来場者が閲覧しました。



図-3 交流の場で提供された資料(グラビップ発行)

5. 一般講演

(1)「函館港の整備と地域振興に向けて」

続いて一般講演が行われ、最初は三岡照之函館港湾事務所長による函館港の整備が地域振興に与える影響についての講演でした。その中にあった昨年供用が開始された若松地区クルーズ船岸壁は、先日の函館港まつり時にも大型クルーズ船が寄港し、多くの観光客が来函していた様子を伺うことができ、地

域振興に貢献していることが分かりました。

(2)「埋もれた地域資源を発掘し価値創造する取り組み事例」

続いて大会代表である布村技術士の発表がありました。函館の歴史的、地域的な特性により建設された土木遺産が持つ観光資源としての価値を高める様々な取り組みを土木技術者の観点から紹介しました。また一般観光客向けのインフラツアーも実施しており、ツアーガイドを担うことで我々技術士が社会に貢献できる場があると感じました。



図-4 地域資源の価値を高める多様な取り組み

(3)「魅力ある海辺の空間整備に向けたみなとまちづくり」

最後に寒地土木研究所の榎本碧研究員による講演がありました。同氏は地域景観チームに所属され、専門家の立場から国内外の港町の景観づくりと、それがどのようにまちづくりとリンクしていくかについて発表されました。良い景観というのは、観光客だけでなく、そこに住む人にとっても重要であり、それが環境の良さにも繋がっていくということが分かりました。

6. おわりに

本フォーラムでは人口減少が進む函館を、函館港を核として観光面から盛り上げていこうとする様々な取り組みが紹介され、大変心強く感じました。

道南技術士委員会も地域に根ざした技術者集団として地域振興に貢献していきたいと考えています。